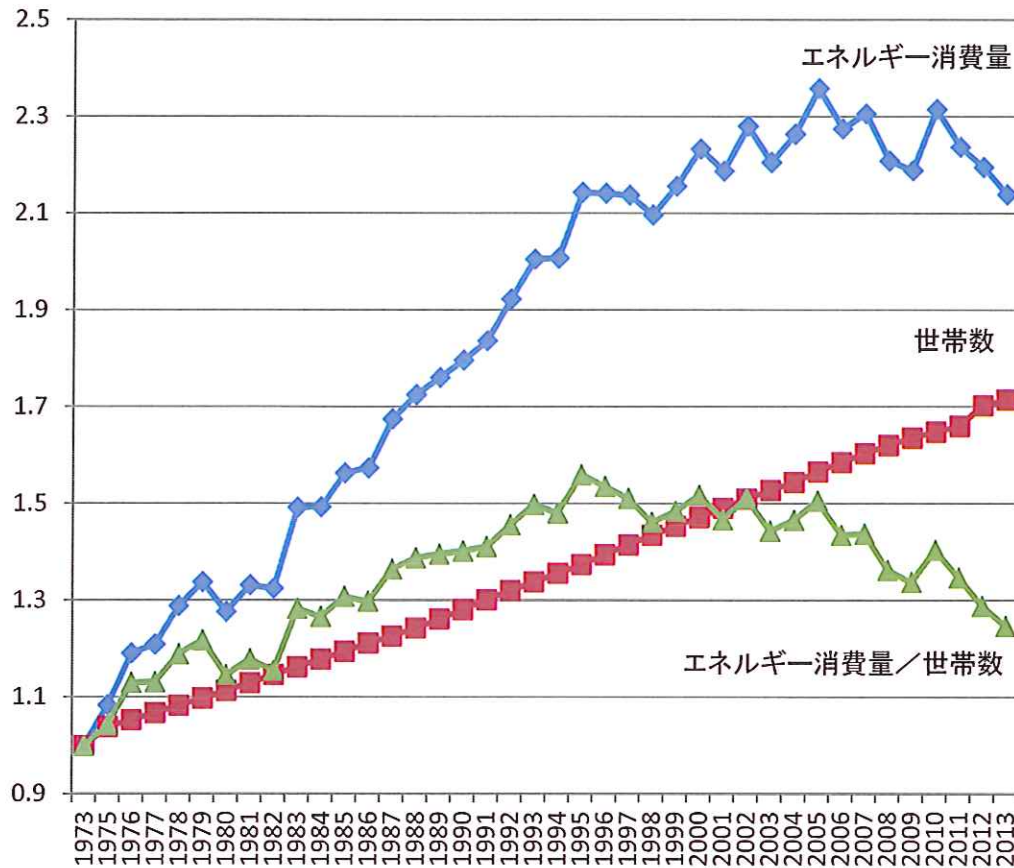


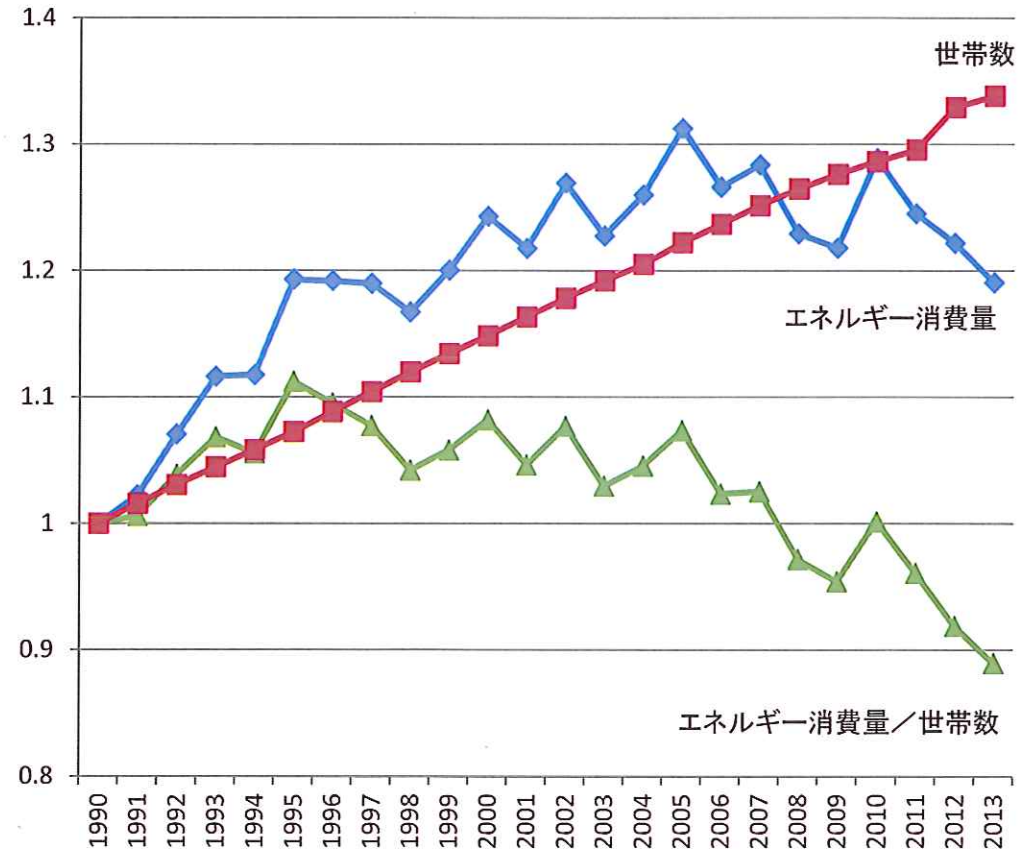
1. 我が国のエネルギーの現状（家庭部門のエネルギー消費状況①）

- 大幅にエネルギー消費量が増加している家庭部門についてみると、「世帯当たり」のエネルギー消費量は近年横ばいから改善の傾向が見られる。
- 世帯数は一貫して増加傾向にある一方、エネルギー消費量は増加傾向に歯止めがかかり、近年横ばいの状況。

家庭部門におけるエネルギー消費量と世帯数の推移



(縦軸は、1973年度を1とした場合の指数)



(縦軸は、1990年度を1とした場合の指数)

(出所) (一財) 日本エネルギー経済研究所「エネルギー・経済統計要覧」を基に作成